

令和8年度

高越小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的に学ぶ児童を育成するための、言語活動の充実
- SWPBSを活かして学習規律の定着を図る

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業観察や教員との対話や報告等、あらゆる機会を捉え、取り組み状況と児童の変容の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○漢字の読み書きや整数の四則計算等については概ね定着している。</p> <p>●学習規律の定着に課題があり、集中して最後まで話を聞くことが難しい。</p> <p>●語彙数が少なく、文章を読んだり書いたりすることに課題がある。</p>	<p>・学習規律を守り、最後まで集中して話を聞くことができる。</p> <p>・基礎的・基本的な知識を身に付け、文章を読んだり書いたりできる。</p>	<p>・学習規律マトリクスを作成し、活用する。</p> <p>・「全集中！読書の日」を設定し、読書カードに感想や初めて知った言葉を記録する。</p> <p>・子ども新聞を活用するなど、多様な情報を読み取る機会を設ける。</p>		。	4

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○ペアやグループでの表現活動に意欲的に取り組む児童が多い。</p> <p>●相手の意図を捉えながら聞いたり、自分の考えの根拠を明確にして話したりすることが十分でない。</p> <p>●タブレット端末を使った学習に意欲的であるが、必要な情報を調べたり、わかりやすくまとめたりする力に個人差がある。</p>	<p>・課題解決に向けて、互いの考えや意見を整理し、根拠や理由を明確にししながら自分の意見を伝えることができる。</p> <p>・タブレット端末の使い方のきまりを守りながら、課題を解決したり、自分の考えや意見をまとめたりすることができる。</p>	<p>・「話し方」や「聞き方」の具体例を示し、小グループでの対話的で協同的な学習形態を積極的に取り入れる。</p> <p>・年度当初にタブレット端末の使い方のきまりについて指導し、各学年に応じて調べ学習や発表にタブレット端末を活用する。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○授業中の課題や宿題など、与えられた課題に対してまじめに取り組める。</p> <p>●自ら課題を見つけ、追求しようとする意欲が十分でない。</p> <p>●初めて学習する課題や、手順が難しい課題に根気強く取り組めず、あきらめてしまうことがある。</p>	<p>・望ましい学習習慣が身に付いている。</p> <p>・自分の学習状況や興味関心に応じた課題を見つけ、計画的に学習することができる。</p> <p>・今まで学習したことを使って、新しい課題にも粘り強く最後まで取り組むことができる。</p>	<p>・「家庭学習の手引き」を活用しながら、自主学習の仕方を指導し、個に応じた学びを実現する。</p> <p>・家庭と連携した「学びのサポート」を実施し、学校生活や家庭学習の仕方を振り返る機会を設ける。</p> <p>・「とくしま授業の基礎基本」を活用した授業改善に取り組み、学習の振り返りがしやすいノート指導を行う。</p>			